



## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記 1 の書類について、別添のとおり提出します。

### 記

<p>1 提出書類 ＜該当を選択＞</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画書 ( PDF ・ 書類 { 部 )  <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 ( PDF ・ 書類 部 )  <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画書 ( PDF ・ 書類 部 )  <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 ( PDF ・ 書類 部 )</p>
<p>2 提出者</p>	<p>(住所) 〒 595 - 0015           明亜興業株式会社          代表取締役 笹 寛明</p>
<p>3 対象事業場</p>	<p>(所在地) 〒 -          尼崎市 管轄区域内           (名称)          尼崎市 管轄事業場           (事業場コード(6桁))          909171</p>
<p>4 事業場データ (報告データ)</p>	<p>(業種コード(4桁))          07          (業種名)          職別工事業           (フレーム：完成工事高) 万円           (廃棄物発生場所地域名) ＜該当地域に○印をしてください。＞※          11 神戸市、12 尼崎市、13 姫路市、14 西宮市、          21 阪神南、22 阪神北、23 東播磨、24 北播磨、25 中播磨、26 西播磨、          27 但馬、28 丹波、29 淡路           ※ 地域は政令市・県民局単位。複数地域にまたがる場合、第2面は地域ごとに作成ください。</p>
<p>5 ご担当者</p>	<p>(所属)          明亜興業株式会社           (氏名)          石川           (電話) (FAX)          072-336-3333 072-336-3340           (E-mail)          ishikawa@meia.ne.jp</p>

(建設業)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 30 日

尼崎市長 殿

提出者

住所 大阪府大阪市平野区長吉長原西3丁目11-49



氏名 明亜興業株式会社

代表取締役 笹 寛明

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 (06) 6797-7777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	尼崎市 管轄事業場
事業場の所在地	尼崎市 管轄区域内
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) 07 職別工事業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 5000万円
③ 従業員数	40 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事 がれき類（コンクリートガラ）→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託し、チップ（合材燃料用）として再資源化 混合廃棄物（混載）→再生処理業者に委託し、選別作業を行い再資源化 石綿含有産業廃棄物→選別作業を行い埋立処理機関に委託し埋立処理 廃プラスチック類、紙くず→選別作業を行い有価物処理化。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
精度の高い手選別を取り入れ、廃棄物と再生できるものとは仕分けし、リサイクルに務めました。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
本年度に引続き、リサイクル、リユースできる品目の徹底した手選別を取り入れ、循環社会の実現に貢献できる社会を目指します。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・プラスチック・紙類 (段ボール含む)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・プラスチック・紙類 (段ボール含む)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)  該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)  該当なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)  該当なし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)  該当なし			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)  該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)  該当なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)  精度の高い手選別を取り入れ、廃棄物と再生できるものとは仕分けし、リサイクルに務めました。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	- t	- t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			
可能な限り優良認定処理業者を選定し再生利用、 熱回収が可能である廃棄物については再生利用業者から選定する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「-」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

添付資料・・・管理体制図及び各部署の役割

(指示)

明垂興業株式会社

(報告)

部署	役割
代表取締役	産業廃棄物の発生から処分に至るまでの確認 産業廃棄物の発生工程、種類、発生量、排出量、性状等の確認 処理施設(事業場内・外)の定期的査察状況の確認 行政に対する報告等の確認 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の確認 産業廃棄物の適正管理、減量化等に関する社内啓発及び指示 各部署間の調整の確認 廃棄物の資源化・減量化適正管理について実施の確認
廃棄物管理部	産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して把握管理 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 処理施設(事業場内・外)の定期的査察 行政に対する報告等 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 各部署間の調整 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 上記内容を報告
営業部 解体工事直属	産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 各現場の施設の維持管理点検等 保管施設での保管量把握 中間処理施設の稼働状況の把握 最終処分場の稼働状況の把握 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析 上記内容を報告
自家物保管直属部	産業廃棄物の適正処理費用の算出 産業廃棄物処理技術の向上 産業廃棄物減量化 上記内容報告

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状：前年度（令和4年度）実績量

計画：今年度（令和5年度）計画量（目標）

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)	(第3面)			(第4面)	(第4～5面)				
		排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量 (自動計算)	(委託先の区分ごとの処理委託量)			
								優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1 がれき類	前年実績	845t					845t		845t		
	計画	755t					755t		755t		
2 木くず	前年実績	180.535t					180.535t	109.245t	180.535t		
	計画	170t					170t	100t	170t		
3 管理型混合廃棄物	前年実績	112.242t					112.242t		112.242t		
	計画	100t					100t		100t		
4 石綿混合産業廃棄物	前年実績	1.8t					1.8t				
	計画	1t					1t				
5 繊維くず	前年実績	95.1t					95.1t		95.1t		
	計画	90t					90t		90t		
6 燃え殻	前年実績	0.21t					0.21t	0.21t	0.21t		
	計画	0t					0t		0t		
7	前年実績										
	計画										
8	前年実績										
	計画										
9	前年実績										
	計画										
10	前年実績										
	計画										

(別紙)